

press release

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

2019年2月8日(デンマーク現地時間2月1日発表)
PRESS-19-01

ノボ ノルディスク社が、2月1日に発表した内容の翻訳版です。内容や解釈については正式言語である英語が優先されます。
英文オリジナル版は、[こちら](http://novonordisk.com)(novonordisk.com)をご参照ください。

ノボ ノルディスク社 2018年営業利益は デンマーククローネで4%減、現地通貨で3%増 退職費用および経口セマグルチド優先審査保証費用を差し引いた営業利益は現地通貨で6%増

売上高はデンマーククローネではおおむね横ばい、現地通貨で5%増の1,118億デンマーククローネ(DKK)でした。

- ビクトーザ®の売上高は、5%増の243億DKK(現地通貨で9%増)
- オゼンピック®の売上高は、1,796百万DKKで、GLP-1総売上高は13%増(同18%増)
- Saxenda®の売上高は、51%増の39億DKK(同60%増)
- トレーバ®の売上高は、10%増の80億DKK(同15%増)
- インターナショナルオペレーションズの売上高は、2%増(同7%増)
- 北米オペレーションズの売上高は、2%減(同3%増)
- 糖尿病・肥満症領域の売上高は、1%増の939億DKK(同6%増)またバイオファーマ領域の売上高は、5%減の179億DKK(同1%減)

営業利益は、DKKに対する米ドルおよび関連通貨の下落により、DKKで4%減、現地通貨で3%増の472億DKKでした。2018年下半期のレイオフに関連した退職費用と経口セマグルチド申請に関して優先審査保証(Priority Review Voucher)に関わる経費を差し引いて調整すると、営業利益は現地通貨で6%増となりました。

純利益は、1%増の386億DKKでした。希薄化により、1株当たり利益は4%増の15.93DKKでした。

2018年2月、ノボ ノルディスクは、米国において週1回投与のヒトグルカゴン様ペプチド-1(GLP-1)アナログであるオゼンピック®を上市しました。オゼンピック®の週別新規処方処方せん枚数シェアは26%に達し、これによってノボ ノルディスクの全GLP-1アナログセグメントシェアを安定させています。オゼンピック®は、欧州および北米の11カ国において上市されています。

2018年11月、ノボ ノルディスクは、2型糖尿病患者を対象とした新たな1日1回服用のGLP-1アナログである経口セマグルチドのPIONEER第3a相臨床開発プログラムについて、PIONEER6とPIONEER9の2試験についても無事に終え、全試験について完了しています。ノボ ノルディスクは、2019年第一四半期末頃の経口セマグルチド申請を決断し、優先審査保証に基づき、経口セマグルチド申請の優先審査を米国食品医薬品局(FDA)に依頼しました。

2019年の業績見込については、売上高は現地通貨で2-5%増を見込んでいます。これには、既に公表している、約20億DKKのメディケア・パートDの処方箋薬剤給付保険支払い金額の変更によるマ

イナスの影響が含まれます。報告通貨(DKK)の売上成長率は、現地通貨より2%ポイント高くなると予想しています。営業利益成長率は、現地通貨で2-6%増と予想され、同様に報告通貨(DKK)の営業利益成長率は現地通貨より4%ポイント高くなると予想しています。

取締役会は、リース取引に関する新しい会計基準(IFRS 第16号)と、有形・無形資産の投資水準を反映するため、OPAT/NOA(税引後営業利益の純営業資産に対する割合)の長期財務目標を125%から80%へ調整しました。さらに、投資水準を反映するため、利益目標に対するキャッシュを90%から85%に調整しました。営業利益成長率の長期財務目標については、変更していません。

取締役会は、2019年3月21日の定時株主総会で、2018年の配当金について、1株(額面0.20DKK)当たり5.15DKKを提案する予定です。2018年の年間の配当金は、1株当たり8.15DKKを見込んでおり、これは2017年比4%増となります。そのうち中間配当金として、1株当たり3.00DKKが、2018年8月に支払われました。取締役会は、最大150億DKKの自社株買戻しプログラム(12カ月間)を新たに開始する予定です。

社長兼CEOのラースフルアーガーヨルゲンセンは次のように述べています。「2018年はノボノルディスクにとって変革と大きな進歩の年でした。当社は、売上と営業利益の目標を達成し、2型糖尿病患者向けの週1回の新GLP-1であるオゼンピック®を複数の国で上市することができました。経口セマグルチドの広範囲のPIONEER第3a相臨床開発プログラムの成績は、2型糖尿病患者さんにとって非常に希望の持てるもので、FDAの承認を受けるべく経口セマグルチドの申請まであと一歩というところまで来ています」

ノボノルディスク社は、デンマークに本社を置き、95年以上にわたり糖尿病治療に必要な革新的な医薬品の開発を通じ糖尿病ケアの革新をリードしてきました。糖尿病の克服を目指して培ってきた経験や能力は、肥満症、血友病、成長障害といったその他の重篤な慢性疾患の領域にも活かされています。ノボノルディスク社は現在80カ国に約4万3,200人の社員を擁し、製品は170カ国以上で販売されています。日本法人は1980年に設立されました。

本資料は、重工業研究会、本町記者会へ配布させていただきます。